

令和2年度 教育相談・特別支援教育について

令和2年（2020年）5月7日
保健部 教育相談・特別支援教育係

1 教育相談について

本校には、生徒のみなさんや保護者の方の悩みなどを気軽に相談できる、教育相談の窓口があります。相談窓口は、担当職員やスクールカウンセラーの先生です。

生徒のみなさんは、休み時間、昼休みや放課後などに、教育相談担当の職員に声をかけるか、保健室へ来てください。静かな場所で話をすることができます。友人関係、部活動、学習、進路、家庭、恋愛、自分の性格、先生、身体に関する事など、どんな内容でも、また小さなことでもかまいません。まずは話をしてみたいと思います。

また、保護者の方は、担任を通して、または電話で、教育相談担当の職員に連絡していただければ、日時を設定して話をすることができます。最近元気がない、頻繁に体調不良を訴える、学校に行くのを嫌がるなど、お子様の様子で気になることがありましたら、遠慮なくご相談ください。希望があれば、生徒のみなさんや保護者の方を、スクールカウンセラーの先生につなぎます。

相談窓口

【学校教育活動全般について】

教頭 鬼塚 博光

【生徒について】

梅野 裕貴子（保健主事、国語）	長尾 聡子（副主任・1年次副担任・家庭科）
中島 直子（養護教諭）	宮崎 英司（2年次副担任・地歴公民）
鶴本 啓介（2年次副担任・数学）	淀川 美加（3年次担任・英語）
安宅 正継（3年次副担任・数学）	伊藤 憲明（3年次副担任・地歴公民）

【スクールカウンセラー（SC）】

中島 裕美子（なかじま ゆみこ）先生 面談は水曜日の午後（月1～2回来校）

※面談をご希望の場合は、事前に担任または梅野裕貴子・中島直子までご連絡ください。

八代清流高等学校 0965-35-5455

基本方針

心身ともに発達が著しい高校時代は、多様な悩み直面し、高校生活をスムーズに展開できない生徒もいる。悩みを抱える生徒たちを受容し、それぞれの問題解決に向けた支援を行う。また、相談にあたっては、生徒の人権や家庭環境等にも十分配慮して相談活動を行い、担任・年次団と連携をとる。

内容・体制

- ① 担任・年次との連携を図り、不登校・遅刻・欠課等の兆候が見られる生徒の早期発見に努める。
- ② 担任・年次との連携のもと、面談・家庭訪問等を行う。
- ③ 前・後期の面談週間を活用し、生徒の実態把握に努める。
- ④ 必要に応じて教育相談・特別支援教育委員会を開き、当該生徒の状況報告を担任から受け、今後の対応や指導等について検討する。また、職員間の共通理解を図る。

2 特別支援教育について

「特別支援教育」とは、特別支援学校が対象とする、視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱・身体虚弱等だけではなく、広汎性発達障がい（高機能自閉症やアスペルガー症候群など）、学習障がい（LD）、注意欠陥・多動性障がい（ADHD）などの発達障がいのある生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、教育上適切な指導や支援を行うものです。支援を必要とする生徒の自立や社会参加に向けて、生活や学習をする上での困難を改善、または克服するために行います。

— 次のようなことでお困りの子どもさんは居られませんか？—

【学習面】

- ・聞き間違いや聞き漏らしがしばしばある。
- ・早合点や飛躍した考えをする。
- ・思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい。

【行動面】

- ・細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする。
- ・持ち物の整理整頓が自分でなかなかできず、忘れ物が多い。
- ・集中して努力を続けなければならない課題を避けたがる。
- ・座っていても手足をそわそわ動かし、じっとしていることが苦手である。

【対人関係】

- ・含みのある言葉を言われても分からず、言葉通りに受け取ってしまう。
- ・友だちと仲良くしたいという気持ちはあるが、友人関係をうまく築けない。
- ・周りの人が迷惑するようなことも、配慮しないで言うってしまう。

以上のようなこと、または、お子様のことで何か気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

相談窓口

【特別支援教育係】 梅野裕貴子・中島直子までご連絡ください。

八代清流高等学校 0965-35-5455

支援体制

- ① 保護者との支援内容の検討・連携
- ② 教育相談・特別支援教育委員会による支援方策の検討
- ③ 「特別支援教育フェイスシート」「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」の作成
- ④ 担任・特別支援教育係による対象生徒との定期的な面談、対象生徒の状態把握
- ⑤ 対象生徒の障がい（病気）に応じた学習上・生活上の配慮及学習・評価上の配慮
- ⑥ 別室登校する生徒への教科指導
- ⑦ 関係機関（医療機関・特別支援学校など）との連携